

2021 6/8

No.2140

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



箱根ガラスの森美術館で、マガモの赤ちゃん2羽が生まれた。同館は「赤ちゃんガモが無事に育つのはまれ」と新しい命の誕生を喜んだ。



視点点描	3
あっぱれな生き方	
社 会	4
令和の黒板五郎が見たい 「北の国から」が描く戦後日本	
経 済	8
官民連携で中小企業を全力支援 コロナ禍で田中・日本公庫総裁	
くらし2021	10
子どもの目の健康を守ろう	
企業最前線	12
A I活用、進化する食品検査装置 人手不足対策や「匠の技」維持で	
アジアの風	14
「凡庸な悪」に寄りかかる構図	
NNAアジア経済レポート	15

事務局だより

◇2021年6月のオンライン講演会

ユーチューブによるライブ配信で実施

6月23日(水)午後0時30分～1時30分配信

講師はデジタル改革担当大臣の平井卓也氏

演題は「我が国のデジタル改革について(仮題)」

◇2021年6月の定例講演会

6月30日(水)午後1時30分～3時

横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ5階「日輪」

講師は共同通信社オリンピック・パラリンピック室長の小林伸輔氏

演題は「コロナ禍で迎える東京五輪・パラリンピック」

※新型コロナウイルスの感染状況によっては開催方法を変更する場合があります。

◇2021年7月の定例講演会

7月12日(月)午後1時30分～3時

崎陽軒本店4階「ダイナスティー」

講師はかながわ信用金庫理事長の平松廣司氏

演題は「『論語と算盤』と信用金庫経営—経営の本質は経営者自らの中にある—」

※新型コロナウイルスの感染状況によっては開催方法を変更する場合があります。

視点 点描



あっぱれな生き方

1932年8月11日生まれの88歳。俳優として、作家として国際ジャーナリストとして、異文化の中で自らの人生を切り開いてきた岸恵子さんが自伝「卵を割らなければ、オムレツは食べられない」(岩波書店、2200円) Ⅱ写真を上梓した。(まだやりたいことが山ほどある)と、米寿を迎えた今も現役。1人の女性として憧

れとともに敬意を表さずにはいられない。

自伝ともエッセーとも読める本



3代目のハマっ子。県庁勤めの父の長女として現在の南区平楽近くに生まれ育った。(いちばん遠い記憶は二・二六事件)。幼少期の思い出に(三溪園の前の遠浅の海) (花電車が出る夏の港祭りの花火大会) (ニューグランドホテルのダイニングで食べた旗の立ったお子様ランチ) を挙げる。

小学校時代は(駆けつこが早く算数が苦手)だった。太平洋戦争が始まり厚木へ疎開し、第一高女時代は(舞踊と演劇サークルに属してクラス委員を務め、舞踊サークルではクリちゃんこと栗田光子(女優の草笛光子さん)と一緒に緒だった)と記す。

生粋のハマっ子であり、横浜大空襲の日の体験を今も克明に意志をもって後世に語り継ぐ市民の一人である。戦後、日本とフランスという二つの祖国を行き来し、国際派俳優としての貫禄を見せる一方、経験の幅を生かした文筆や講演活動を長年にわたり続けてきた。

コロナ禍で思うように活動できない今を(力試しるとき)と受け止め、おいしいオムレツを食すための心構えを説く。あっぱれな生き方である。

(神奈川新聞社文化部長
高田 久美子)